



夏休み、心に残る1冊に出会えるといいですね

いよいよ夏休みが始まります。子ども達は、長い休みを楽しみにしていることでしょう。



是非、夏休みならではの体験をしてほしいと思います。その1つに読書も入れることができるといいですね。

2～6年生の人には、国語の教科書の「本だな」を始めとしたおすすめの本のリストを配りました。この中から夏休みに読む本を選んで借りた人もたくさんいました。自分の好きな本を読むことはすてきなことですが、それと同時に紹介された本を読んでみることで、読む本の幅が広がり、いろいろなことへの興味・関心を広げていくことができると思います。

みさと館“本の森”も利用を！

子ども達は、夏休み用の本を学校の図書館で3冊～5冊程度借りていますが、夏休みの期間中は、蔵書の点検作業のため、返したり借りたりすることができません。ごめんなさい。是非、みさと館“本の森”に親子で足を運んでみてください。私（三宅）も、長期休業中によく利用させてもらっています。本が新しくきれいなのも魅力的ですよ。

読み語り大好き！

～ボランティアさんにお世話になっています・図書委員会の子ども達も活躍しています～

邑智小学校の子ども達は、読み語りが好き人が多いです。特に、今年度はそう感じます。

6月からは、月1回読み語りボランティアさんが来校し、各学年の教室に読み語りに入ってくださいしています。（保護者の方や、地域の方、中学校の先生方など）毎回の本選びも大変だと思いますが、子ども達に合った本を選んでくださり、すてきな時間になっています。ボランティアのみなさん、ありがとうございます。

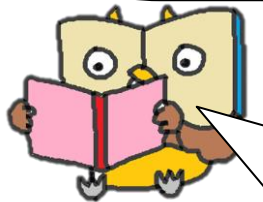
図書委員会の子ども達も、七夕の時期に合わせて、低学年の教室に絵本や紙芝居をしに出向きました。委員会の時間に楽しいお話を選び、休み時間や朝の時間にも練習しました。低学年の子ども達が楽しんで聞いてくれている姿が、とてもほほえましく感じられました。



読書貯金にご協力いただきありがとうございました

6月末に10日間、読書貯金の取り組みをしました。期間が終わり、たくさんの子どもの用紙が私の手元に返ってきました。子ども達のがんばりやお家の方の協力（読み語りや声かけ、コメントの記入など）をととてもうれしく思いました。子ども達の感想を紹介します。

- ☆280分も読めたのは、はじめてだった。(2年)
- ☆“カレーライス好きのペンギン”がおもしろかった。(2年)
- ☆やってみたら楽しかった。(3年)
- ☆ふだん読まない本もいろいろ読めておもしろかった。(3年)
- ☆とても楽しかった。この習慣を身につけたい。(4年)
- ☆こんなに読めるとは思わなかったのでびっくり。(4年)
- ☆こういう機会があってうれしい。(5年)
- ☆読書はいいなあと思った。(6年)



毎日読書をして、すべての欄に記入して提出した人には、ぼく（邑智小学校の図書館のキャラクターのブックロー）のしおりをプレゼントしたよ。今回残念ながらもらえなかった人は、2学期にもチャンスがあるよ！！リベンジしてね。

読書をすることは、テレビを見るように受け身ではできませんが、子ども達の感想に、「やってみたら楽しかった」とあるように、一歩踏み込んでみると意外と楽しいものだということがわかると思います。2学期にも読書貯金の取り組みを予定していますが、その前に、この長い夏休みに親子で家読に取り組んでみてください。

子どもが読書好きになるヒントBOOK(ベネッセ)より

ベネッセからいただいた冊子を、先日子どもさんを通して配布しましたが、いかがだったでしょうか！？私が心に残ったのは、ZIP（朝のTV番組）に出ている日本テレビの柘アナウンサーのインタビュー記事でした。

柘さんが本を読むようになったきっかけは、両親から準備してもらったたくさんの学習漫画だったそうです。「フェアブル昆虫記」や「三国志」に夢中になると、次は小説版の「フェアブル昆虫記」や「三国志」の関連図書を買ってもらおうというように、自然に読書好きになるような環境に育ったようです。柘アナウンサーが、漢字や言葉に強くなったり、テレビ番組で生物コーナーを担当するぐらい知識が身についたりしたのも、子どもの頃の読書と関係があるようです。「本は知らない世界への入り口であり、もっと世界を見たいという気持ちにさせてくれた。」ということも言っておられました。